

授業科目

成人言語障害学I

担当教員名 栗崎 由貴子	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

成人脳損傷者のリハビリテーションにおけるチームアプローチに専門職として参加するため、成人に生じる言語・コミュニケーション障害（失語および右半球損傷・認知症・頭部外傷などによるコミュニケーション障害）の言語症状の特徴や鑑別の方法を理解し、他の専門職との連携のあり方について認識を深める。

授業の目的

失語症は言語聴覚療法において重要な専門分野である。
この講義ではまずは基礎的知識を身につけ、その知識を次の実践力への足掛かりとする。

学習目標

1. 失語症学の生い立ちについて説明し、その発展の概略について述べることができる
2. 失語の発生のメカニズムについて、原因疾患と病巣を中心に整理して述べるができる
3. 失語の言語症状を説明するとともに、他の症状と鑑別することができる
4. 失語の分類名を列挙しその特徴を述べるとともに、典型例については他から鑑別して同定できる
5. 失語と鑑別すべきコミュニケーション障害を列挙し、主な鑑別点を説明できる
6. 失語のリハビリテーションの流れについて、チームアプローチの観点から説明できる
7. 失語の予後についてその概略を説明できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	失語症の概要	講義	栗崎 由貴子
2	失語症の基礎 1	講義	栗崎 由貴子
3	失語症の基礎 2	講義	栗崎 由貴子
4	失語症の症状 1	講義	栗崎 由貴子
5	失語症の症状 2	講義	栗崎 由貴子
6	失語症候群 1	講義	栗崎 由貴子
7	失語症候群 2	講義	栗崎 由貴子
8	失語症候群 3	講義	栗崎 由貴子
9	評価の流れ	講義、VTR	栗崎 由貴子
10	評価の実際 1	講義	栗崎 由貴子
11	評価の実際 2	講義	栗崎 由貴子
12	総合的失語症検査 1	講義	栗崎 由貴子
13	総合的失語症検査 2	講義、VTR	栗崎 由貴子
14	掘り下げ検査	講義	栗崎 由貴子
15	まとめ	講義	栗崎 由貴子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	標準言語聴覚障害学 失語症学	藤田郁代 編著	医学書院	2011年	5,600円+税	
	言語治療マニュアル	伊藤元信・笹沼澄子 編集	医歯薬出版	2010年	6,720円	
参考書	よくわかる失語症と高次脳機能障害	種村純・鹿島晴雄 編集	永井書店	2003年	9,450円	
	失語症言語治療の基礎	紺野加奈江	診断と治療社	2001年	3,500円	

その他の資料						
--------	--	--	--	--	--	--

評価方法

期末試験により評価する。

履修上の留意点**オフィスアワー・連絡先**

月曜日 12:10～13:10
kurisaki@nuhw.ac.jp